

公益社団法人 地盤工学会 調査・研究部
平成 28 年度第 2 回調査・研究部運営会議 通算第 3 回調査・研究部会
議事録

日時	平成 29 年 1 月 16 日 (月) 14:00~17:00		場所	地盤工学会 3 階中会議室	
部長	山下 聡 (北見工業大学)	○	★理事	西村 伸一 (岡山大学)	○
幹事長	松下 英次 (長野高専)	○	副幹事長	大竹 雄 (新潟大学)	○
研究・連携・情報委員会			幹事	中澤 博志 (防災科研)	○
サブ幹事	三上 武子 (前田建設工業)	×			
研究発表会委員会			幹事	伊藤 和也 (東京都市大学)	○
サブ幹事	今 広人 (ジャパンパイル)	×	★サブ幹事	肥後 陽介 (京都大学)	×
部員	森河 由紀弘 (名古屋工業大学)	○	オブザーバ	山中 稔 (香川大学)	×

(★新任；○出席；×欠席；△未定；☆電子会議)

配 付 資 料

資料番号	資 料
運営資料-28-2.0	平成 28 年度 第 1 回 調査・研究部運営会議議事録 (案) (H28/10/6 開催)
運営資料-28-2.1	理事会 (10/28,11/25,12/22) 開催報告資料
運営資料-28-2.2	平成 29 年度調査・研究部第二次予算
運営資料-28-2.3	平成 29 年度事業計画「まえばん」(案)作成のお願い
運営資料-28-2.4	調査・研究部規定類
運営資料-28-2.5	平成 28 年度調査・研究部構成
運営資料-28-2.6	名誉会員候補者推薦依頼
運営資料-28-2.7	平成 29 年度新設研究委員会テーマ案募集
運営資料-28-2.8	首都高横浜環状北線の地盤変動監視に関する調査研究の受託事業の再委託発注
運営資料-28-2.9	第 60 回地盤工学シンポジウム開催報告 (案)
運営資料-28-2.10	福島第一原子力発電所の廃止措置への貢献を目指す『廃炉地盤工学』に関する講演会開催報告 (案)
運営資料-28-2.11	「福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的の新技术開発と人材育成プログラム」平成 29 年度継続契約積算資料および契約関連書類の作成依頼
運営資料-28-2.12	首都高横浜環状北線の地盤変動監視に関する調査研究の受託事業の平成 28 年度契約
運営資料-28-2.13	「南鳥島周辺海域における海底地下空間利用のための調査研究検討委員会」構成
運営資料-28-2.14	第 30 回環境工学連合講演会招待講演者推薦依頼
運営資料-28-2.15	岩の力学連合会平成 29,30 年度役員候補者推薦依頼
運営資料-28-2.16	第 52 回地盤工学研究発表会運営幹事会議事録
運営資料-28-2.17	地盤工学研究発表会今後の展望のあり方 (案)
運営資料-28-2.18	第 51 回地盤工学研究発表会決算書 (暫定版)
別添資料-1	

I. 前回 (H28/10/6 開催) 調査・研究部会議事録の確認
各自確認することとなった。

(運営資料-28-2.0, pp.1-5)

II. 理事会 (H28/10/28,11/25,12/22) 開催報告

(運営資料-28-2.1, pp.6-20)

◆10/28 書面会議

- ・関連規定類の改定について、修正版を提出し、審議・了承された。
- ・南鳥島委員会の構成案、新規テーマ募集案について報告した。

◆11/25

・昨年度と今年度の予算の違いについて、シンポジウムの実施形式 (地盤工学シンポジウム⇒環境地盤シンポジウム) の違いが表れている。

⇒研究発表会の予算 (実施時期が変わる)、電子図書室の運営形態の変化、断層委員会の報告書の変化が主である。

- ・研究発表会について、AM8:40～のスタートは早すぎる、休憩20分は長すぎる、という指摘があった。
- ・研究発表会は、本部が主催するものであるため、時間の変更等は、重要な変更事項であるため、支部で判断せずに、理事会に方向して進めるように指示があった。

⇒支部主催という立場を明確にするべきではないか。

- ・引き続き、コスト削減につとめるように指示があった。

◆12/22 書面会議

- ・特になし

◆1/13 予算についてのWeb ヒアリング

総務部より、下記の指摘があったことが報告された。

- ・研究発表会 (名古屋) について、本部印刷費の外注費を削減できないか。

⇒外注した方が合理的であることを説明したことが報告された。

- ・役務提供対価費とは何か。
- ・研究発表会 (名古屋) については、より一層のコスト削減につとめるように。
- ・Web 会議の実施等により、会議費を減らすことはできないか。

III. 全体関係

[審議事項]

1. 調査・研究部 平成29年度予算

(運営資料-28-2.2, pp.21-22)

- ・上記の理事会報告の中で議論が行われたため、ここでは割愛する。

2. 調査・研究部 平成29年度事業計画「まえばん」(案)

(運営資料-28-2.3, pp.23-32)

- ・「電子図書室の充実・・・」の文章の前に、「さらに」を入れて、文章のつながりを明確にすること。

3. 調査・研究部 規定類の変更

(運営資料-28-2.4, pp.33-34)

- ・理事会への提出資料に地盤工学シンポジウム運営規則が抜けていたので、修正案を作成する必要がある。
 - － WG は部門に名称を変更する。
 - － 幹事は部門担当者に名称を変更する。
 - － 6条は削除、8条の但し以降は削除する。
- ・地盤工学シンポジウムの優秀講演者賞については、廃止することを表彰委員会で提案する。

4. 調査・研究部 平成29年度の体制

(運営資料-28-2.5, p.35)

次年度の体制で決定している体制について報告、確認がなされた。

- ・理事・部長：西村先生
- ・幹事長：大竹、副幹事長：松下先生が人選し依頼する。
- ・研究連携情報委員会、幹事：三上さん、サブ幹事：荒木さん
- ・研究発表会委員会、幹事：肥後先生

[報告事項]

5. 名誉会員候補者の推薦依頼 (運営資料-28-2-6, p.36)

- ・1月16日締切、調査・研究部からの推薦なし

IV. 研究・連携・情報委員会関係

[審議事項]

1. 平成29年度新設研究委員会テーマ公募(学会誌11・12月合併号会告掲載) (運営資料-28-2-7, pp.37-40)

- ・「①次世代地盤改良技術に関する研究委員会」、「②グラウンドアンカー確認試験に関する委員会」の2件の応募があった。
- ・①については採用の方針で進めるが、委員長を含め若年層のメンバーで構成されているため、委員会の運営面で懸念がある。

⇒この点への対応について確認の上、採択することとする。

- ・②については、不採択とする。

2. 首都高横浜環状北線の地盤変動監視に関する調査研究の受託事業の平成28年度契約に伴う再委託発注

(運営資料-28-2-8, pp.41-47)

- ・再委託をすることで、承認された。

[報告事項]

3. 第60回地盤工学シンポジウム(H28.12.7、JGS会館)開催報告 (運営資料-28-2-9, pp.48-50)

- ・CD販売価格:4,000円(税込)会員、非会員とも
- ・シンポジウムの開催報告がなされ、CDの残部23部については、一般販売することが報告された。

4. 「福島第一原子力発電所の廃止措置への貢献を目指す『廃炉地盤工学』」に関する講演会(H28.12.22、JGS会館)開催報告 (運営資料-28-2.10, p.51)

- ・参加者数:91名/参加費:無料
- ・上記について報告があった。

5. 文部科学省英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 (運営資料-28-2.11, pp.52-54)

1) 平成28年度委託費の入金および支払い

9月末までに支出した分について、文科省から16,493,501円入金があった。その内、再委託先支出分について、再委託先に支払った(早稲田大学 8,197,922円(11/29付)、千葉工業大学 1,529,084円(12/8付))

- ・上記について報告があった。

2) 平成29年度継続契約積算資料および契約関連書類の作成依頼

廃炉地盤工学委員会が担当している標記事業について、別紙資料のとおり、書類作成依頼があった(1/13と2/28締切)。また、平成28年度は59,800千円であったが、57,600千円に減額されることになった。

- ・上記について報告があった。

6. 首都高横浜環状北線の地盤変動監視に関する調査研究の受託事業の平成28年度契約(メール審議済み)

(運営資料-28-2.12, pp.55-59)

- ・メール審議済みであり、各自確認することとなった。

7. 「南鳥島周辺海域における海底地下空間利用のための調査研究検討委員会」構成案(メール審議済み)

(運営資料-28-2-13, p.60)

- ・メール審議済みであり、各自確認することとなった。

8. 第30回環境工学連合講演会(H29.5.23、日本学術会議講堂)招待講演者推薦依頼(地盤環境企画委員会対応)

(運営資料-28-2-14, pp.61-62)

- ・大嶺 聖 氏(長崎大学)
- ・上記について報告があった。

9. 岩の力学連合会平成 29,30 年度役員候補者推薦依頼 (岩盤工学企画委員会対応) : 1/31 締切

(運営資料-28-2-15, pp.63-64)

・上記について、推薦者が選定中であることが報告された。

V. 研究発表会委員会関係

[審議事項]

1. 第 52 回地盤工学研究発表会

1) 運営関係全般

(運営資料-28-2-16, pp.65-67)

- ・市民向けに地盤品質判定士による講演会、無料相談会を開催する予定である。
- ・優秀講演者賞、親族同伴者は従来通りとなる見込みである。
- ・9:00 スタート案を第一案として提案することとする。ただし、本部支部連絡会の実施が遅くなる点を説明する。
- ・本部支部連絡会の実施を早めるための案として、8:40 スタート案を第二案で提案する。
- ・この場合には、第一セッションにできるだけセッションは減らすことを配慮することとする。
- ・見学会については、2 案準備することとする。
 - A コース：浜岡原子力発電所（地盤工学会員のみ、セキュリティの関係）
※予算を使うのはA コースのみ
 - B コース：市民向け見学会を別途企画中（市民+地盤工学会員向け）

2) 展望

(運営資料-28-2-17, pp.68-72)

- ・展望については、元の運営方針（独法理事による展望講演の前）に戻す方針とする。
- ・「展望」のあり方についての文章については、理事会へ提出しないこととする。
- ・展望講演者については、岡村未対先生を第一候補として打診することとする。

3) プログラム編成会議：3月14日開催予定

- ・7月中旬の開催であるので、編成会議がタイトなスケジュールとなる。
- ・座長の若返りが求められており、特に企業関係の若手を選定するための仕組みを作る必要がある。
 - 近年、座長の断りが多いので、できるだけ当初から精度良く座長を設定したい。
- ・8:40 スタートとなった場合の朝一セッションの座長は主に中部支部から提案してほしい。

[報告事項]

2. 第 51 回地盤工学研究発表会

1) 決算報告（暫定）

(運営資料-28-2-18, p.73)

- ・岡山大会（第51回）の予算、決算（案）が報告された。

VII. その他

1. 理事会（平成29年1月27日(金)開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項]

[審議事項]

[報告事項]

規定類の変更（地盤工学シンポジウム運営細則の廃止）、平成29年度新設研究委員会テーマ案の選定について
研究発表会（発表開始時間、DSの採択コマ数/応募数、展望、見学会、市民向け行事）

2. 総務部会（平成29年2月17日（金）開催予定）への提案事項

3. 次回以降の部会・運営会議開催日

★ 平成 28 年度 理事会 開催日程 (予定含む)

① 4 月 20 日 (水) ※書面審議

② 5 月 17 日 (火)

★ 6 月 8 日 (水) 総会/理事会

③ 6 月 15 日 (水) ※書面審議

④ 7 月 28 日 (木)

⑤ 9 月 29 日 (木)

⑥ 10 月 28 日 (金) ※書面審議

⑦ 11 月 25 日 (金)

⑧ 12 月 22 日 (木) ※書面審議

⑨ 1 月 27 日 (金)

⑩ 2 月 24 日 (金) ※書面審議

⑪ 3 月 17 日 (金)

⑫ 4 月 21 日 (金) ※書面審議

⑬ 5 月 19 日 (金)

★ 6 月 9 日 (金) 総会/理事会